

感染症の流行・発生状況について
2026年第9週(2月23日～3月1日)診断分

● 県全体の警報・注意報

警報	なし
注意報	インフルエンザ、水痘

● 各保健所の警報レベル・注意報レベル

警報レベル	注意報レベル
北部保健所:インフルエンザ 中部保健所:インフルエンザ 那覇市保健所:インフルエンザ 南部保健所:インフルエンザ、水痘	八重山保健所:インフルエンザ

● 2026年第9週南部保健所管内の全数報告について※先週までの訂正追加報告も含む

《二類感染症》 ・結核:1件

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願ひします。

1)インフルエンザ
本県から令和7年10月10日付けでインフルエンザ流行状況について、インフルエンザ注意報発令のプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。
<https://www.pref.okinawa.jp/press/1034048/index.html>

感染症発生動向調査による本県の定点からのインフルエンザ報告数が、2025年第40週で定点当たり12.18人(報告数548人)となり、注意報の発令基準である10.0人を超えました。2026年第8週の定点当たり21.49人(報告数967人)と比べ、第9週では定点当たり19.73人(報告数888人)と減少しました。しかしながら南部保健所管内においては2026年第8週の定点当たり21.25人(報告数255人)と比べて第9週は定点当たり22.75人(報告数273人)とわずかに増加しました。警報レベル状態は依然として継続しております(警報解除は定点10.0人未満)。これからは三寒四温の繰り返しで寒の戻りも経験します。一層、体調管理が難しくなります。積極的に有効な予防策を取り、感染防止につなげましょう。

インフルエンザの感染予防には「手洗い」「咳エチケット」「換気」「予防接種」が有効です。定期接種については各市町村の情報をご参照ください。

2)水痘(水ぼうそう)
本県の定点からの水痘報告数は、2026年第5週に定点当たり0.96人(報告数24人)で注意報解除になりましたが、第9週において定点当たり1.00人(報告数25人)となり注意報再発令となりました。南部保健所管内においては、第8週では定点当たり0.67人(報告数4人)で警報解除レベルでしたが、第9週では定点当たり2.50人(報告数25人)と増加し、再び警報レベルとなりました。

水痘は水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる急性の伝染性疾患で、2週間程度の潜伏期間の後、発熱や倦怠感(成人のみ)を経て掻痒を伴う全身性の発疹といった症状が出現します。1歳以下や15歳以上で合併症の危険性が高くなり、とくに成人では重症化及び合併症の頻度も高くなります。感染及び重症化予防には感染者との接触を控えることと予防接種が有効です。定期接種の対象でまだ接種を受けていない方は早めに接種ください。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

沖縄県全体報告数

南部保健所管内報告数

疾病名	定点区分	6週	7週	8週	9週	9週	6週	7週	8週	9週	9週
		2/2	2/9	2/16	2/23	(定点あたり報告数)	2/2	2/9	2/16	2/23	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	832	1046	967	888	(19.73)	251	307	255	273	(22.75)
咽頭結膜熱	小児科	10	8	6	7	(0.28)	3	2	1	2	(0.33)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	39	48	53	57	(2.28)	8	17	9	15	(2.50)
感染性胃腸炎	小児科	104	120	90	88	(3.52)	44	55	47	36	(6.00)
水痘	小児科	22	16	19	25	(1.00)	10	12	4	15	(2.50)
手足口病	小児科	0	4	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
伝染性紅斑	小児科	3	2	3	4	(0.16)	0	0	0	1	(0.17)
突発性発疹	小児科	5	4	3	5	(0.20)	4	3	1	2	(0.33)
ヘルパンギーナ	小児科	1	1	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性耳下腺炎	小児科	1	2	0	1	(0.04)	0	1	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	30	16	26	19	(2.11)	20	8	12	7	(2.33)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	1	0	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	7	3	3	4	(0.16)	5	2	2	1	(0.17)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	1	0	2	1	(0.14)	0	0	0	1	(1.00)
COVID-19	COVID-19	34	34	57	70	(1.56)	7	4	13	18	(1.50)

警報

注意報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。